

第3回 伊良湖岬中学校統合準備委員会 会議録

日時	平成29年7月13日（木）19時00分～20時14分
場所	渥美文化会館 大会議室
出席者	委員（27名） 小久保正吾、牛田久美夫、山本晴樹、小久保秀人、平尾昭弘、小久保重子、河合博之、中村昌博、藤井崇文、高瀬美穂、小久保裕樹、田中秀一、真野多正、中尾利之、宮川敏彦、鈴木正三、田中啓介、橋本省三、天野千栄子、吉川孝光、渡邊尚之、清田大治、河合道博、渡邊宏光、小川眞知子、久瀬正弘、小林 琢 事務局（10名） 花井教育長、大根教育部長、伊藤教育総務課長、杉田学校教育課長、大羽企画部企画課長、小久保渥美支所地域課長、矢野学校教育課指導主事、小久保教育総務課長補佐兼係長、鈴木教育総務課主任、彦坂教育総務課主任
欠席者	なし
傍聴者	なし
事務局	《開会》
教育長	あいさつ 皆さん、こんばんは。教育長の花井 隆でございます。 毎日暑い日が続きますが、きょうは大変お疲れの中、第3回伊良湖岬中学校統合準備委員会にお集まりいただき、大変ありがとうございます。福江中学校区と伊良湖岬中学校区の各コミュニティの会長、そしてPTA役員、学校の先生の参加を得て、準備委員会やそれぞれの部会がこれから行われてまいります。本年度も大変お世話になりますので、どうぞよろしく願いいたします。 まずもって、先ほど伊藤課長からもありましたが、今年度のこの準備委員会の開催が1学期のこの末になりましたことを重ねてお詫び申し上げたいと思います。 平成31年4月のスタートに向けて、残すところ1年8カ月となりました。伊良湖岬中学校の福江中学校への統合に関するさまざまな内容や事柄について話し合いを継続してまいりたいと思います。昨年度から引き続き御参加いただいている方、そして本年度から新たに参加される方ということで、それぞれのお立場から御質問、御意見をどんどん出していただきまして、子どもたちにとってよりよい学校の実現に向けて話し合いを進めていきたいというように考えております。仲間がふえて学校生活が楽しく、充実しているというように子どもたちが実感できるように、2つの中学校の間でいろいろと調整したり、相互理解を図ったりして、新たな福江中学校の実現に向けて、御理解と御協力をお願いしたいと思います。 本日は、どうぞよろしく願いいたします。
	《自己紹介及び設置要綱の説明》
事務局	委員紹介・・・自己紹介（資料1） 事務局紹介
事務局	統合準備委員会設置要綱について（資料2により説明）

	<p>《これまでの経緯について》</p>
事務局	<p>次に、これまでの経緯ということで、私のほうから引き続き御説明させていただきます。資料3をごらんください。</p> <p>先ほど要綱のほうでも説明させていただきましたとおり、統合準備委員会につきましては、昨年の11月29日に設置をいたしまして、昨年度は統合準備委員会として2回開催をいたしました。</p> <p>第1回目の内容につきましては、委員長の選出、副委員長の指名、各専門部会における年間スケジュールなどについて協議をいたしました。</p> <p>また、専門部会の中の教育課程部会からは、伊良湖岬中学校と福江中学校の学校間で決めることや事前に準備していくことが多いことから、伊良湖岬中学校と福江中学校の2校で先行して協議、実施していくことがございますということの報告、要望がございまして、委員会です承をいただいた経緯がございます。</p> <p>第2回目の統合準備委員会では、それまで教育課程部会が重ねてきました協議内容の報告がございまして、新入生の部活動については、統合前の平成29年度、本年度に、男子バレーボール部と男子卓球部を新設するということや、交流を目的として両校で合同練習を実施するということが報告されました。</p> <p>また、生徒の服装については、3年間は福江中学校、また伊良湖岬中学校のどちらの制服でも可能ということとし、新しく購入する際には福江中学校の制服を購入していただくということ、さらには伊良湖岬中学校の特色ある伝統行事を継承するために、夏用の体操服については、上下1着は準備してもらうということなどが報告、協議、承認をされております。</p> <p>次に、裏面でございますが、専門部会の開催状況でございますが、まず教育課程部会につきましては、昨年の12月6日に第1回目、今年の1月12日に第2回目、3月15日に第3回目を、いずれも福江中学校の会議室において開催いたしました。</p> <p>詳細につきましては、先ほど御説明させていただきました表面の準備委員会のところでお伝えさせていただきましたが、両校の校長先生を中心に、3月15日の第3回以降も継続して何度か検討を重ねていただいております。私の説明の後、福江中学校の久瀬校長先生から、補足を含めて、また報告をしていただきます。</p> <p>裏面の一番下でございます専門部会の通学体制部会につきましては、資料3の2をごらんください。</p> <p>A3のカラー刷りの図面でございます。伊良湖岬中学校、福江中学校区の図面でございます。</p> <p>こちらにつきまして、3月9日に第1回目の部会として開催しました。この図面を用いまして、スクールバスを走らせた場合に、こういったルートで生徒を学校まで通わせるのか、また停留所はどこにするのか、さらに自転車通学も可能かどうかといったことについて話し合いを行っております。ただ、正式には、今年度引き続き、これから1つずつ検討して決めていくということになっております。</p> <p>なお、資料3のほうにお戻りいただきますと、最後のところに専門部会としまし</p>

	<p>て、地域部会とPTA部会につきましては、昨年度の開催はございませんでしたので、御了承いただきたいと思ひます。</p> <p>私からの説明は以上とさせていただきます、ここで資料3の3について、福江中学校の久瀬校長先生のほうから、補足を含めて御説明いただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。</p>
委員	<p>それでは、よろしくお願ひいたします。資料3の3です。</p> <p>教育課程部会が学校での部活動や服装、行事などを検討します。昨年度、特に部活動と制服や持ち物については、先行して決定させていただきました。理由は、現中学1年生が中学3年生のときに統合します。ということで、今の中学1年生の子たちが中学校の入学説明会のときに、今後の3年間を見通して入学できるようにという配慮です。これは、例えば今の中学1年生の子たちが3年生になるときに福江中学校と統合すると、部活動の数が、今13ありますが、13ふえる。そのときに自分は、伊良湖岬中学校でやった2年間の部活動を継続するのか、3年後に自分は移動していききたいのか等も含めて、そういうことが可能であるというルールの下に、あらかじめ知っておいて入ってもらう。それから、決めるときにも、福江中学校、この前、合同の交流会をしましたが、伊良湖岬中学校にはないが福江中学校にある部活動、例えば剣道部だとか、そういうものを見ていただきながら、自分はこの3年間どう過ごすかということ、早めにこちらが方針を持っておかないと子どもが迷ってしまうということで、昨年度のうちに服装と部活動については、決定させていただきました。まず、これを御承知おきいただきたいと思ひます。</p> <p>資料3の3を1枚めくっていただくと、平成29年度伊良湖岬中学校の部活動についてということで、これが昨年度の2月8日に、伊良湖岬中学校の入学説明会で配付された資料になっております。つまり、ここに書かれていることが、この3年間で実施される事柄になります。例えば部活動でいきますと、伊良湖岬中学校においては、今年度、2つの部活動を新設するだとか、福江中学校へ行った後、転部が可能で、それから、ユニホームについても、同じようなユニホームを着られるものについては、両校で話し合っ、今の1年生のユニホームを同じものにしていこうとか、それから中小体連という、大会を組織する団体があるのですが、そこに対して、今の中学1年生に限ってはユニホームが混在してもいいと。伊良湖岬中学校の中に福江中学校のユニホームを着ている子がいてもいいというような、いろいろな形での要望をしていきました。そういうことが認められておりますので、そのことが書かれて、今の中学1年生の子たちには、この説明がいつていると思ひます。</p> <p>それから、新設した男子バレーボール部ですが、例えばどこか野球部で、もし伊良湖岬中学校の子たちが人数が足りなくなった場合、野球で9人しかいないとか、8人しかいないとか、バレーボールで6人しかいない場合には、平成30年の新人戦に限っては、福江中学校と合同チームをつくって参加できるというようなことも決定されてもらひまして、これについては、福江中学校の中学1年生の子たちにも説明済みというようになっております。これは、そうなるかどうかは、来年になって</p>

みないとわからないのですが、そういう、人数が足りないような事態になった場合には、合同チームで参加できるというようになっております。そういった事柄が、この2枚の裏表に書かれておりますので、御確認ください。

それから、次に3枚目ですが、服装、持ち物についてですが、伊良湖岬中学校の制服、福江中学校の制服のモデル等が書いてありますが、結構似ているのですが、よく見ると違うところもあります。これにつきましては、先ほど課長からもありましたが、3年間どちらを着てもよいということです。福江中学校に来てからも、伊良湖岬中学校の制服で来ていただいても結構ですし、ジャージやシューズについても結構です。ただし、新しく買う場合には福江中学校に合わせてほしいと。

この統合のためではないのですが、福江中学校のジャージを昨年度かえました。福江中学校の生徒においても、新しいジャージを着てもいいし、古いものを着てもよいと。それが多分、伊良湖岬中学校のほうでも、今の1年生に限っては、福江中学校で新しいジャージを着ていいことになっていると思うのですが、本当に混在しております。今の福江中学校の1年生においても、昨年までの緑ジャージですが、緑ジャージを着ている子もいれば、今の新しい赤いジャージを着ている子もいます。この混在しているというのは、では、いつまでかといいますと、自然消滅するまで。3年に限らず、4年目でも5年目でも、まだジャージが着られて、その子が着たいという気持ちがあれば、学校としてはそれを認めていくということをまずは決定させていただいております。そういったことが、この裏から2ページのところ、2枚の中には書かれております。

そして、もう1つ大事なことが修学旅行です。資料はありませんが、修学旅行については、統合した平成31年5月の中下旬に行っていきます。その中で、修学旅行は非常に大きな、そしてとても楽しみな行事なので、人間関係がしっかりできてからの2学期がいいのではないかという意見も出ましたが、福江中学校の年間行事を見ていくと、修学旅行を11月とか10月に持っていくというのは非常に難しいこともあります。そのかわり、この2年間、昨年も入れて3年間になりますが、今の中学1年生の子たちにつきましては、交流事業をできるだけやっていって、子どもたちの人間関係をなるべく深めていくようなことを行っていきながら、修学旅行については、5月の下旬から6月の中旬あたりというように決めさせていただきました。

学校行事につきましては、昨年3月15日の3回目の部会の中で、両校の伊良湖岬中学校と福江中学校の校長、教頭、教務主任なども含めた中で決めたことを報告事項とさせていただくようにさせていただきました。御意見をいただきながら、なるべくそれに沿った形なんですけど、修学旅行については、この秋にもう契約が始まりますので、昨年のうちに決めておかなければならなかったということで、昨年4月から、今年の4月になって決定をさせていただきました。今言ったように、5月の下旬から6月の中旬あたりで実施させていただきたいと。それに、もちろん不安があると思いますので、人間関係をさらに良好にするためには、統合後の4月、

	<p>5月においても、極力、特別な単年度の行事になるんですが、3年生においても、例えば宿泊授業などをして、1.5泊というのか、例えばそのような形で子どもたちが交流できるような工夫なども、それは決定ではありませんが、例えばそういったものやっけていながら、何とか修学旅行を楽しいものにしていきたいというように考えております。これについては、今の現清田校長とも話をして、了解を得ておりますので、言葉で言うことではないかもしれませんが、1つ御報告をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>あと、今後につきましては、このように教育課程部会においては、要望を聞きながら、学校のほうで検討させていただいて、報告をさせていただくということが続くと思いますが、よろしくお願ひしたいと思ひます。大事なことは、部活動や服装については、決まったことは、今、中学1年生の子には話をしてあるのですが、今の小学6年生の子、5年生の子にも伝えていかなければなりませんし、福江中学校区の小学校のほうにもきちんと伝えていかなければならないものですから、事あるごとにこういった資料を何度もお見せして周知を図っていきたく思ひますので、御協力をお願ひします。</p> <p>以上です。</p>
事務局	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>事務局から1点訂正をさせていただきます。すみません。資料3の2の図面の中に、漢字の間違ひがございまして、一番右のほうを見てくださいと土田集落センターというところがございまして、囲みでございまして、大坂経由の下に、「小塩津堺経由」とあるのですが、小塩津境の境という漢字が間違っております。境内の境という字が正しいのですが、この境という字が中に5カ所ほどございまして、その左の和地の信号のところにもございまして、その左の一色地区、小塩津集落センター。その左の小塩津堺という漢字の5カ所。申し訳ございませぬ。訂正をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>また、この検討部会の際には訂正をしたもので準備をさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。</p>
	《委員長の選任について》
事務局	<p>それでは、協議事項に入らせていただきます。</p> <p>まず初めに、本統合準備委員会を代表し、会務を經理していただきます委員長の選任についてでございますが、前委員長であられました和地地区コミュニティ協議会の河合会長が退任されまして、現在委員長が不在となっておりますので、新たに委員長の選任を行うものでございます。</p> <p>委員長につきましては、先ほど設置要綱第5条第2項にございまして、委員の中から互選によると規定しておりますので、どなたか御意見ございましたら、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
委員	はい。
事務局	お願ひします。

委員	委員長は指名推薦としまして、委員長には、和地地区コミュニティ協議会長の小久保正吾さんを推薦したいと思いますが、いかがでしょうか。
事務局	ただいま、委員長には、和地地区コミュニティ協議会長の小久保正吾さんとの御意見がございましたが、いかがでしょうか。賛成される方につきましては、拍手をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。
	（拍手）
事務局	ありがとうございます。拍手多数でございますので、委員長には、和地地区コミュニティ協議会長の小久保正吾委員と決定いたしました。 それでは、小久保委員長には、就任の御挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いします。
委員長	失礼します。委員長ということですが、何分にも力不足で、自分には大変重たい役目ですが、皆さんの御指導と御協力の中で、何とか自分なりに一生懸命やっていきたいと思っています。今までの経緯も説明がありましたように、去年から四つの部会でしっかり学校を中心にやってくれていると思いますが、また今年度もさらに地域のために、子どものためにしっかり議論してもらって、よりよい方向に進めていってほしいと思います。簡単ですが、挨拶とさせていただきます。
	（拍手）
事務局	ありがとうございました。 それでは、ここからの議事の取り回しにつきましては、設置要綱第6条に基づきまして、委員長をお願いいたします。 どうぞよろしくお願いします。
委員長	それでは、ここから私のほうで会議の進行をさせていただきますので、円滑な議事進行に皆様の御協力をお願いいたします。
	《副委員長の指名について》
委員長	協議事項の2ですが、副委員長の指名ということで、設置要綱第5条第3項の規定により、副委員長は委員長の指名によるとなっておりますので、副委員長には、清田校区コミュニティ協議会会長の鈴木正三さんを指名させていただきますので、どうぞよろしくお願いします。 ここで、鈴木副委員長に御挨拶をお願いします。
副委員長	失礼します。委員長に、副委員長として指名されましたので、先ほど委員長がいろいろおっしゃいましたように、一生懸命いろいろやっていきたいと思っていますので、皆さんの御協力をよろしくお願いします。
	（拍手）
	《部会長の任命について》
委員長	どうもありがとうございました。 それでは、協議事項3、部会長の任命についてということで、まずは事務局のほうから説明をお願いします。
事務局	委員長、お願いします。お手元の資料4をお願いいたします。

伊良湖岬中学校統合準備委員会の専門部会の設置要領がございます。この要領に基づきまして、伊良湖岬中学校統合準備委員会設置要綱第7条に規定する専門部会の設置、運営に関しまして必要な事項を定めるものとさせていただきます。

2番の専門部会では、協議した内容を取りまとめをしまして、必要に応じて統合準備委員会へ諮るものとする。また協議内容によっては、統合準備委員会へ報告するものとするというものでございます。

3としまして、専門部会の名称及び検討事項は、次のとおりとしております。

まず、部会名地域部会ですが、主な検討事項としまして、式典行事、閉校式だとか閉校記念誌、受入式など、さらには同窓会の関係、あと歴史・伝統の保存、寄贈品等について協議をしていただく場でございます。

P T A部会としましては、現在のP T A組織の解散だとか精算、決算、また新しいP T A組織の編成等でございます。

教育課程部会におきましては、事前交流事業の計画、学校行事、服装や持ち物、校則、部活動の運営計画、生徒会の役員選出等でございます。中には、一部、先ほど福江中学校の校長先生からございましたとおり、決定している事項もございます。

通学体制部会につきましては、スクールバスを走らせた場合の利用計画、運行ルート、バス停、時刻等、それから通学路の安心安全対策等についてでございます。

さらに、学校における備品の整理だとか廃棄関係について、それから文書の保存、学校の予算、学校図書館の運営等について、設置要領にうたっております。

裏面の資料5をご覧ください。

先ほど申しあげました各部会の、こちら事務局としての案をつけさせていただきます。

まず地域部会の案としましては、和地地区コミュニティ協議会の小久保会長、堀切地区コミュニティ協議会の牛田会長、伊良湖地区コミュニティ協議会の山本会長、伊良湖岬中学校P T Aの小久保会長、亀山コミュニティ協議会の真野会長、中山校区コミュニティ協議会の中尾会長、福江校区コミュニティ協議会の宮川会長、清田校区コミュニティ協議会の鈴木会長、福江中学校P T Aの田中会長、伊良湖岬中学校の清田校長、伊良湖岬中学校の河合教頭、福江中学校の久瀬校長、福江中学校の小林教頭というメンバーを予定させていただきます。

続いて、2枚ほどめくっていただきますと、P T Aの部会の名簿の案がつけてございます。

P T A部会としましては、伊良湖岬中学校P T Aの小久保会長、伊良湖岬中学校の平尾P T A副会長、同じく小久保P T A副会長、前伊良湖岬中学校の河合P T A会長、福江中学校P T Aの田中会長、同じく橋本副会長、同じく天野副会長、同じく吉川会計監査、それから前福江中学校P T Aの渡邊会長、さらに伊良湖岬中学校の河合教頭、伊良湖岬小学校の小川教頭、福江中学校の小林教頭の12名を予定しております。

もう2枚めくっていただきますと、教育課程部会の名簿の案をつけてございます。

	<p>伊良湖岬中学校PTAの小久保会長、同じく平尾副会長、小久保副会長、前伊良湖岬中学校の河合PTA会長、伊良湖岬小学校の中村PTA会長、同じく藤井PTA副会長、高瀬PTA副会長、伊良湖岬小学校の小久保会計、前伊良湖岬小学校の田中PTA会長、福江中学校の橋本PTA副会長、同じく天野副会長、吉川会計監査、伊良湖岬中学校の清田校長、河合教頭、伊良湖岬小学校の渡邊校長、福江中学校の久瀬校長と小林教頭というメンバーを予定してございます。</p> <p>最後に、もう2枚めくっていただきますと、通学体制部会の名簿の案でございます。</p> <p>和地地区の小久保会長、堀切地区の牛田会長、伊良湖地区の山本会長、伊良湖岬中学校の小久保PTA会長、伊良湖岬小学校の中村PTA会長、藤井副会長、高瀬副会長、小久保会計、それから福江校区コミュニティ協議会の宮川会長、福江中学校の田中PTA会長、前福江中学校の渡邊PTA会長、伊良湖岬中学校の清田校長、同じく河合教頭、福江中学校の久瀬校長、同じく小林教頭というメンバーをお願いしたいと思っております。</p> <p>以上が、資料4及び5の説明とさせていただきます、この中から部会長を選任していただきたいと思っております。</p> <p>以上で説明とさせていただきます。</p>
委員長	<p>それでは、今、事務局の説明が終わりましたので、部会長につきましては、委員長から任命とのことですので、ここでお諮りします。</p> <p>地域部会の部会長に、伊良湖岬中学校長の清田先生。PTA部会の部会長に、福江中学校の小林教頭先生。教育課程部会の部会長に、福江中学校長の久瀬先生。通学体制部会の部会長に、堀切地区コミュニティ協議会の牛田会長をお願いしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。賛成される方は、拍手をお願いします。</p>
	(拍手)
委員長	拍手多数でありますので、皆さん、どうぞよろしくお願いいいたします。
	《各部会における今後のスケジュールについて》
委員長	それでは、協議事項4になりますが、各部会における今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>失礼いたします。</p> <p>それでは、資料6ということで、A3の見開きの伊良湖岬中学校統合準備委員会等スケジュール(案)といった、カレンダー式になっておりますが、こちらをごらんいただきたいと思っております。</p> <p>まず全体としてお集まりいただきます統合準備委員会につきましては、次回の会合を10月下旬、表の上のほうに2重丸がございまして、統合準備委員会、10月下旬に今年度の第2回目を。そして、年が明けました1月中旬ごろに、今年度の第3回目を予定しております。</p> <p>次に、各部会のスケジュールについてですが、先に四つの部会に共通したスケジュールから申し上げますと、それぞれの部会におきまして、まず今年度中に決めな</p>

	<p>ければならない事項、さらには来年度まで検討が必要な事項、さらに来年度になってから決めればよい事項等の大きく三つに分ける作業がございますので、今後、検討部会を開始しましたら、そういった作業から入っていただくことになります。</p> <p>次に、統合前の年となります来年度、平成30年度から、既に経費、予算が伴うものが発生してまいります。そちらについてを各部会で検討していただくようになります。これにつきましては、来年度必要な田原市への予算編成が、毎年10月末と決まっておりますので、各部会から10月中旬ごろまでをめぐり項目出しをしていただきたいと思いますと思っております。スケジュールの表でいきますと、黒い菱形のマークをつけさせていただいておりますので、このころには、うちの部会ではこういったものが必要になるといったものを事務局のほうに報告していただきたいということでございます。そういった提示されました項目について、事務局のほうで見積もりを徴収しまして、予算要望額を算定してまいります。</p> <p>では、各部会を行うに当たりまして、何をいつまでに、どのように検討して決めていくのかということになるかと思っております。最後の資料としまして、参考資料で2枚つけさせていただいておりますが、さきに統合しております野田中学校の統合準備委員会の協議結果まとめというものをつけさせていただいておりますが、まず検討する内容を、どのぐらいの期間で調整していったかという資料になりますが、あくまでも参考資料でございます。当然、参考程度にさせていただく中で、伊良湖岬中学校統合準備委員会としての特色などを盛り込んだ形をつくり上げていただければと思っております。</p> <p>参考資料を見ていただきますと、統合準備委員会としては、こういった体制でいろいろなことを協議していきましたという表がございまして、その裏面には、それぞれの検討会で、検討会を何回開いたか、どういったことを決めていったか、それにはどういったものをつくっていったかといったものをつけさせていただいております。</p> <p>黄色く塗って部分については、最低でも今年度、決めていく事項ということで、黄色のマークをつけてございます。そのために、各部会の今後の日程を決めていただいて、1回目の開催をするときには、この資料だけでは、実際に何をつくったんだというものができてきておりませんので、1回目の検討部会のときには、過去に統合した学校が、準備委員会、検討部会等で、どんなことをして、どんな検討をしてきたかといったものの資料、それから完成品等をお示しさせていただいて、検討部会に入っていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>事務局からは、説明は以上です。</p>
委員長	<p>ただいまの説明につきまして、何か御意見、御質問はありませんか。</p> <p>ないようですので、このようなスケジュールで進めていくこととします。</p>
	<p>《その他》</p>
委員長	<p>それでは、協議事項のその他というところで、事務局から何か連絡事項がありますか。</p>

事務局	<p>お願いします。</p> <p>先ほど最後のほうでお話しさせていただきましたが、これで今日の会が終了した場合には、各部会長に、また事務局から御連絡をさせていただいて、第1回目の各部会をいつごろ行っていくかという日程調整をさせていただきます。事務局の不手際でこの時期になってしまっておりますので、7月末から8月のお盆前に、最低でも1回目の各部会を開催させていただきたいと思っております。</p> <p>ただ、部会につきましては、各委員が二つ以上のかけ持ちにさせていただいておりますので、そういったところの日程調整も事務局のほうでしていきながら、開催案内、それから会場、どこにするかというものを事務局のほうで案内させていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>これは協議事項ではなくて、情報提供という形で、少しお時間をいただければと思います。福江中学校のことで少しお知らせいたしますので、御理解いただきたいと。</p> <p>二つあります。一つは、福江高校との中高一貫連携型教育ということです。</p> <p>昨年度から、福江高校と福江中学校が一貫教育というものを始めています。これは連携型といいまして、同じ敷地内にあるわけではなくて、別々の敷地にあるのですが、交流をしていくという形をとっています。愛知県では3校目です。田口高校と作手高校と、3校目が福江高校。去年は指定されたばかりだったので、できることをやろうということで、部活動の交流など、行事の交流を少しやりました。少しというぐらいが多分あっているぐらいです。今年からは、福江高校の教員が、計6時間、福江中学校の3年生の教室で英語と数学、3クラスあるものですから、各クラスに英語と数学を週に1時間ずつ、6時間来てくれて、ティーム・ティーチングで授業をやっています。ただ福江中学校の教員も同じような時間を、福江高校の1年生に対して、今、3クラスあるものですから、2時間ずつ入って交流が始まっております。</p> <p>ただ、例えばテニスだとか卓球については、合同で練習ができます。野球は、軟式と硬式が違うとか、バレーボールはボールの大きさが違うとか、ちょっとやりづらい部分もあるのですが、やれるものについては、合同で練習をしたりとか、それから高校の陸上部の先生が福江中学校の陸上部の練習を、たまにですが、見に来ていただいて、指導していただいたりとか。または、防犯の街頭活動などについては、福江高校と福江中学校の生徒会が一緒になってやるとか、そういったことが、今始まっております。いずれは連携型の入試というものもまた始まりますが、これはまだ決定はしておりませんので、いつ始まるかは何とも言えませんが、そういったことが始まっております。伊良湖岬中学校についても、2年後に統合するというところで、福江高校、福江中学校、伊良湖岬中学校の関係者で、どのように伊良湖岬中学校の子が、今後その中高一貫教育に入っていくかということの検討や、少しずつ活動も始まっております。多分、福江高校の校長先生が話に行っていますよね、伊良</p>

	湖岬中学校に。
委員	伊良湖岬中学校は、今年から、ここの校長先生が来て、3年生と1年生の授業をとりあえずやってもらっています。行事等で公開授業を見に行ったりですね、あと部活動の交流も今、計画をしている最中でありますので、そちらのほうに進んでいく予定であります。
委員	<p>というように、この統合に絡んで、中高一貫についても、伊良湖岬中学校の子が困らないような形で始まっているということを御理解ください。これにつきましては、福江高校や福江中学校、伊良湖岬中学校からも、また情報提供が今後出ていくと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>それから、二つ目ですが、福江中学校はコミュニティ・スクールという新しい学校の形に向けて、今準備をしております。今年から準備が始まりまして、今年と来年で準備し、平成31年、統合の年にコミュニティ・スクールという形の学校に変わります。変わりますといっても、見た目は何も変わりません。ただ、今どの学校にも評議委員会というのがあるわけですが、評議委員というのは、その学校に対して意見を言っただけの機関なのですが、そのかわりに学校運営協議会という委員会をつくります。評議委員会とは別です。意見を言うだけではなくて、校長が示す方針を了承したり、その学校の運営に意見だけではなくて、運営に参画できると。そのような新しい学校の形です。これは文部科学省が、そのように全ての学校をコミュニティ・スクール化していこうという方針の中で、福江中学校が田原市の教育委員会の指定を受けながら、今始めております。予算がついて、この2年間で、今、こうしてお話をさせていただいているのも、一つの活動として、今年、福江中学校はこの周知をしていくと。コミュニティ・スクールがどんなものかということ、今は時間がありませんので詳しくは言えませんが、そういった学校運営協議会という、評議委員会よりももう少し踏み込んだ形の地域の意見が入りやすい、そういった形の学校に変えていこうと、今、準備を進めています。例えば今、この会で2年間話し合ったことが、では3年目に、今度は福江中学校が、この会が多分なくなるのですが、統合準備委員会というのは。コミュニティ・スクールになれば、伊良湖岬中学校区の方も運営協議会に入っただいて、今度は福江中学校の運営に、意見や活動に参加していただくということになりますので、あのときに話し合ったこういうことが、今どのような形で具現化されているということ、中に入って活動もしていけるのではないかと考えて、自分としては、この統合の、いろいろ出てくる課題をコミュニティ・スクール化することで、少しでも子どもたちをいい方向に持っていけるのではないかと考えて、これに取り組ませていただいております。</p> <p>例えば、今、福江中学校の中で資源回収というのをやっておりますが、今後2年後には2倍になります。では、教員が2倍になるかといったら、なりません。今の生徒数を見ていくと、多分2人増えるか、3人増えるか。それも一時的なものであって、5年後、10年後には、今の福江中学校の規模にだんだんとなっていきますので。それで本当に校区の、実質の面積は2倍ぐらいになるのですが、今の二十数名</p>

	<p>の教員でカバーできるのか。資源回収をなくしたら地域の方が困るのではないか。または、子どもたちも資源回収から学ぶこともいろいろあります。学校としては、あそこで15万円から20万円の金も実は入るわけで、そういった事柄をなくすのか、なくさないのか。なくさないとしたら、どのようにやっていくのかというようなことなども学校運営協議会で話をさせていただいて、地域の方の協力を得ながら進めていこうとか、逆に、そのことは学校はやめて、違うところに力を入れたらどうだという、そのようになってくるかもしれません。そういったことを、学校だけではなくて、地域の方と一緒に話し合いながら学校運営をしていくという。より地域の方の意見が入る。学校も地域の方と一緒に、もっとダイナミックな、地域の方がやっていただけるのだったら、もっとこんなことをやりましょうというような、もっと大きなことができるかもしれません。</p> <p>自分は、このコミュニティ・スクール化に、この統合の夢を託すといえますか、統合とはなかなか苦しいこともたくさんあると思いますし、子どもたちにも負担をかけます。だけれども、統合が、伊良湖岬中学校の子と福江中学校の子に対して、待ち遠しくて、早く統合してよかったなというような学校生活だけはつくりたいと思います。地域の方々、いろいろな不安があると思いますが、この一つがコミュニティ・スクール化だと思いますし、中高一貫も、うまく活動していけば大きな後押しになるかなと考えております。今の福江中学校の統合だけではなくて、中高一貫教育、そしてコミュニティ・スクール化に向けての活動を行っておりますので、もし不明な点がありましたら、どんどん自分のほうに聞いてください。どんなことでもお答えしていきますし、御理解を願って、よりいい方向に持っていきたいと思っております。コミュニティ・スクールと中高一貫教育、この二つを今やっておりますので、報告させていただきました。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>そのほかにございませんか。</p>
委員	確認でいいですか。
委員長	はい、どうぞ。
委員	先ほど事務局のほうで、第1回を盆前と言われたのですが、盆明けでもよろしいですか。
事務局	はい。その部会ごとで確認しながら日程を決めていきますので、当然私のほうは、それぐらいがまず1回目の予定かなということで発言させていただきましたので。
委員	わかりました。河合教頭とも事前に相談しまして、ちょっと盆明けでお願いしたいと思います。
事務局	はい、わかりました。お願いいたします。
委員	すみません。
委員長	はい、どうぞ。
委員	それと、各部会を開くに当たって、案内はそちらから出していただくということでよろしいですか。

事務局	はい。案内と会場の確保、それから当日の資料等についても、事務局のほうで用意します。そのときに、御意見を聞きながら、こういった資料も用意してくれというものがありましたら、用意させていただきます。
委員	それと、その部会に入る前に、部会長と相談をして、その部会の中の一部の方で、ある程度、原案をつくりながらということもしていかなくてはならないかなと思いますので、そのあたりは、こちらの部会長と相談して自由に、自由にと言ったらおかしいですけども、やらせていただくということでもよろしいですか。
事務局	はい。下準備といえますか、検討部会に向けての準備をしていただいたほうが、こちらにも助かりますので、よろしくお願いします。
委員	確認、すみません。
委員長	どうぞ。
委員	資料1の名簿の一番下に、「必要に応じて関係者を招集することがあります」ということで、昨年度も、服装や部活動のことにつきましては、このメンバーの中に、福江中校区の小学校の方が余りみえなかったもので、今後は、特に部会のところになると思うのですが、例えば福江小学校や亀山小学校の校長先生、PTA会長方にも入っていただいていることが出てくると思います。多分そのほうが周知が広がったりだとか、こちらは知らないとかが多分起きなくするためにも、ここに一文が書いてあると思いますので、部会のほうでは相談させていただきながら、積極的にこういう方にも来ていただいて、積極的な話し合いをしていただきたいと思います。 <p>ただ教育課程部会で、昨年度と今年の修学旅行までは大分大きなことをやりましたので、ちょっと、今年につきましては、2学期以降に会をまた持っていきたいと思っております。多分PTA部会だとか、そちらのほうが大変だと思っております、そういう形で思っております。お願いします。</p>
事務局	ありがとうございます。 <p>私のほうが先ほど説明の中で説明を漏らしてしましまして、福江中学校の校長先生が申しましたとおり、専門部会の中におきましても、先ほど提示させてもらったメンバー以外に、この方のほうがこういったことは詳しい方が地域にいるよとか、例えば伊良湖岬小学校の前PTA会長が、ある部会で、例えばですけど、これについては、もう1回副会長も呼んでみようとか、そういったことも可能ですので、そういった形で、案内をさせていただくときには、部会長を通じて、案内をする側のほうからしては、また人数を増やして、いろいろな意見をいただく場にしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
委員長	ほかにございませんか。
委員	教育長。中学校の統合準備委員会に関係ないかもしれないけれども、ちょっと教育長に聞きたいことがあるのだけれども、いいですか。
教育長	どうぞ。
委員	この前の小学校の学校再編の件で、一応5年後、10年後を考えて、統合の件をと

	りあえずストップと言っではいけないけれども、白紙状態。それで、その中に、この先、複式学級を取り入れる考えはないというようなニュアンスで新聞のほうに出ていたよね。複式を一応取り入れる気持ちはないというような意見が入っていたと思うのだけれども。
教育長	複式学級については、これは、場面によっては、だんだん複式に近づいていくというようなこともあるとは思いますが、今、私は、それについては、皆さんの意見を聞きながら、また進めていくわけですが、個人的な意見としては言えるのですが、今、そういうことについて、新聞は書いたのですが、そういうことをみんなで話し合っていくと。理念で言えば、複式学級回避ということで統廃合を進めるというような部分があったかと思うのですが。
委員	もう一つだけれども、今、伊良湖岬小学校という形で、和地に3校が引つitted形になっているのだけれども、これを変える気持ちは何もない。伊良湖小学校を亀山小学校に来させるとか、新たに伊良湖岬小学校を統合させた後に、小学校を本当につくる。
教育長	小学校をつくるということで、これは岬の皆様にお約束をしていますので。
委員	それはスタートであって、約束は、話し合って確認し合えば、変えることはできるかもしれない。 はっきり言って、そのときに話し合った代表者、父兄というのは、もうここには1人もおらんでしょう、きっと。アンケートとった人は1人もいない。絶対にないんだって、それは。それが逆に、今、あのときは、要するに前向きで岬連合は一緒だよと、岬3地区はばらばらにならないよという形で、今の伊良湖小学校、堀切小学校、堀切が、要するに津波の件で不安だという形で和地へ3つ引つitted形になっている。だけれども、今の田原市の、はっきり言って現に抱えている貯金が幾らあるか知らないけれども、今の段階で入って、斎場に銭は要るは、学校に銭は要るは、これは全部、当然、前の教育長があれをして、もともとは、統合すればみんなバスで送るというニュアンスでスタートしているでしょう。在来線を使う気持ちはあるのか。この中の中身だよ。中学校の統合はさておいて、この中学校の統合に関して、全部バスで委託をかけるのか。
教育長	そのことも、これから話していくのですが。
委員	これから話をしていって、それは間に合うのか。
教育長	まずは、やっていく中で、今、教育委員会としてはスクールバスでやると言っていますが、いろいろその中で、では福江の西山の子は、伊良湖から来るスクールバスに乗れるかどうかとか、そういうようなことも含めて。
委員	私は、こちらの服装だの、学校の中のことは、はっきり言って、叱られるかもしれないけれども、私たちはどうでもいいもの。こんなことを言うと父兄には叱られるけれども、実際そんなことは、服装がどういう形だの、先生や保護者で決めてもらえばいいことであって、私たちはこちらのほうが興味がある。なぜ興味があるかというと、今、亀山小学校、要するに一番外れが、現在この中学校からこうやって

	円をかくと、単純に、この辺は距離も全部近いのですよね。それで、うまく道を考えると、もっと近くなる。伊良湖境の、ここから今、自転車で福江中学校へ通っている。校長に聞けばわかるけれども、一番外れから通っている子の距離だよ、今の通学路。それと、ここの堀切地区、今書いてあるこの距離が正しいとして、ここのほうが近くはないか。この辺、自転車で考えるのか、バスで考えるのか。
教育長	その辺をどうするかを話し合ってくださいということで。
委員	今からそれをやるということね。
教育長	はい。私の気持ちとしては、できれば、できるだけ自転車を使ってもらってやれるのが一番いいですけども、通学路の問題で、やはり危険な通学路というのか、小塩津の子たちが福江中学校へ通うときに、どの道を通るかで、いろいろ歩道のついた通学路になれば。
委員	それはもともと、中学生と高校生の違いもあるのだけれども、はっきり言って、和地地区、土田は、大坂を越えるのに、福江高校へ来るのに、あれだけ何年来、歩道をつけてくれとやっても、県は県、市は市で、なかなかうまくいかないし。市がそれを、ぽっと歩道をつけられるかといったら、また。
教育長	ちょっと時間がかかりますね。
委員	その辺は、在来線、伊良湖地区は豊鉄バスを使って保美まで来て、保美から徒歩にするとか、そういう考え方は、今から検討会をやるということだね。
教育長	はい。皆さんに出していただいて、絶対に。
委員	もともとのスタートは、教育長は、統合したら全部バスで送りますよというスタートを切っているでしょう。あとは、父兄が納得するか、しないかだけであって。
教育長	私も田原中学校のときに言うと、野田の子はみんなバスで来ると。それから、光崎の子たちは距離が6キロメートルを超す子もいると。
委員	その辺は何も出ない。
教育長	あちらでは出ていないのですけれども。
委員	出ていない。
教育長	はい。実は、私がお願いに行って、童浦の子たちをどうするかと。特に遠い子たちをと言ったら、たまたま童浦のコミュニティ会長が、童浦の子は、今までどおり自転車でやらせていただきますということで、私がおさめますので校長は心配するなということだったのですが、たまたま、ずっと私が教育長になりましたので、童浦にまた出向きまして、いろいろな点で情報提供が少なくて申しわけなかったということで、おわびを入れながら御理解いただいたということで、今後、福江中学校区の子のバスの、いわゆる自転車での距離も含めると、これがまた一つの規範になって、泉と赤羽根をどうするかと。それから、強いては、先ほどの童浦の問題も、不公平がないようにするためには、童浦からバスを出すようなこともあり得るかなというように思いますので、一つ、岬の子たちがどうやって、それから今の福江の子たちがどうやって通うのがいいかを、できるだけ不公平にならないように。
委員	教育長、同じ田原市の小学生の子どもたち、本当に不公平にならないように、統

	合されたらバスだよという概念を捨てて、福江中学校から円をかくとか、道路のあれを加味して、今から検討会でやっていくということでもいいですか。
教育長	小塩津の子たちが、具体的に言いますと、通学路について、安全に確保できるような通学路というのか、これならいいだろうと。今言った歩道ができなくても、道を通してグリーンベルトにしたり、これから通学可能である、安全にできるだろうというような見通しがつけば、またそれも考えていくところかなと思いますので、今言ったしゃくし定規に。
委員	一応、企画がいるけれども、さあ、この道路を直しなさいと言っても、絶対に動くわけではないと思う。
教育長	ですから、直るまではバスで、直ったら自転車をお願いしますというのも、項目をつけて。
委員	その辺は変えることはできるということだね。
教育長	そういう点で、恐らく3キロメートルをバスで行ったりすると、自転車のほうが都合がいいというようなことも出てくるように私は想像するのですが。
委員	今、これで行くと、小塩津の集落センターからだど4.7キロメートルだね。
教育長	西山の子の通りですよ。
委員	どの道を通るかは別としてだよ。だけれども、これは4.7キロメートルと書いてある以上は、この本線を通っていくと4.7キロメートル大概通れる道で考えていると思うのだけれども。そうすると、西山の外れのほうがよっぽど遠いよね。
教育長	ですので、その辺も、先ほど言った不公平感を抱かないような形で、どのような形になるかは、またそこで、やはり皆さんの声を聞きながら、意見を出していただいて、それをまとめ上げていきたいなど。若干、平成31年4月のときに、ひとまずこれでというような形でスタートするようなこともあるかなと思いますが、また、先ほど言ったように、コミュニティ・スクールのようなところで、通学路については、引き続き検討していくようなことにもなるかなと思いますので、原則的に平成31年4月は、岬の人たちは、当初はバスで始まるのではないかと私は想像しているのですが、これは皆さんで決めていくことですので、ぜひそれぞれの要望で。教育委員会としても、こうやって、福江と岬の子の二つの中学校の統合をやりましたので。
委員	このバスの件も、スクールバス、当然チャーターすれば、銭の要ることであって、そうすると、在来線の豊鉄バスを使えるところは、定期の関係は、バスで送るよということになれば、豊鉄バスで定期を買えば、市が出すということだよ。
教育長	はい。それも一つ、今、はいと言いましたけれども、選択肢の一つということ。
委員	いや、豊鉄バスも使ってもらわないと。やめられては困るし。
教育長	その辺は。
委員	ぐるりんバスばかりになって、銭ばかり要るようになって、またよけい悪いし。
教育長	それは教育委員会だけではなくて、それはまた市役所全体のことにもかかわってきますので、調整をとりながらですね。

委員	だけれども、外れから外れまでが真ん中へ来るので、大変なことだと思うけれども、しっかり議論してください。
教育長	はい。議論して。それで、ちょっと申しわけないですけども、あと1年と8カ月になってしまいましたので、そこまでで何とかまとめて上げていくというのは、なかなかの作業で、教育委員会としても、伊良湖岬中学校を伊良湖岬小学校にするというようなことで、皆さんにいろいろなことで御迷惑もかけるのですが、新たな希望のもとにやっていきますので、いろいろな紆余曲折を、皆さんの御協力を得ながら前へ進めていけたらというように思いますので。今いただきました御意見等を、私も受けますし、事務局で全部受けますので、受けるは受けるのですが、要望どおりそっくりお返しできるということは、まだ明確な。
委員	教育長の頭の中に入れておいてくれよ。伊良湖小学校を亀山小学校に来させる気持ちはない。
教育長	伊良湖の方がぜひということができれば。そろえば。
委員	ということは、要するに今赤羽根だという前提で動いていると思うんだよ。だから、伊良湖の校区長、前々校区長だけれども、こちらへ来いと。
教育長	一緒に、最終的には福江中学校へ行くと。
委員	最初のスタートがスタートだったもので、別にそれを、今の段階でなくて、今からこれをやっていくうちに、伊良湖小学校が、はっきり言って20人体制だものね、もう。二十何人になってしまうので。そうすると、今の亀山小学校の校長先生は、保育園のときには、豊鉄バスで亀山保育園へ来ていたんですよ。あのころは、みんなバスで亀山保育園へ来ていた。そうすると、あそこからバスに乗れば、今の小学生もみんなバスで来られるという状況ができるわけでしょう。そうすると、在来線を使うだけで済むという。
教育長	真野委員、今言われたけれども。
委員	こうせよじゃないよ。
教育長	一つの意見として。
委員	変えることも考えて、要するに最初のスタートがこうだから、そのとおりにやらなければいけないという概念を捨ててほしいのだけれども。
教育長	それは、最初の概念で行けば、この。
委員	もっといいことがあれば、どんどん取り入れてやってもらって、その辺をいろいろ検討してもらって。
教育長	意見を受けながら、よく精査しながら、やはりこれがいいとなれば、それで意見がまとまれば、今言った、伊良湖の人たちが亀山へ通うようなことも。まとまれば、一つそれは教育委員会としても。
委員	私の余談だから、頭の中へ入れておいてください。
教育長	余談と言いながら、大分核心に迫ったところもあるかなと思います。 そういう形で御意見をいただきまして、後で言われてしまうと困りますので。後で、ああすればよかったと。結果としてああすればよかったというのも出てくるの

平成29年7月13日(木)

	ですが、できる範囲で、いただいた意見をどうするといいかというのは、私たちの仕事ですので。考えさせていただきますので。
委員	ありがとうございます。よろしく。
教育長	貴重な御意見をいただきまして、ありがとうございました。
委員長	そのほかに、どうですか。 それでは、ないようですので、以上をもちまして第3回伊良湖岬中学校統合準備委員会を閉会いたします。 長時間にわたり御苦勞さまでした。